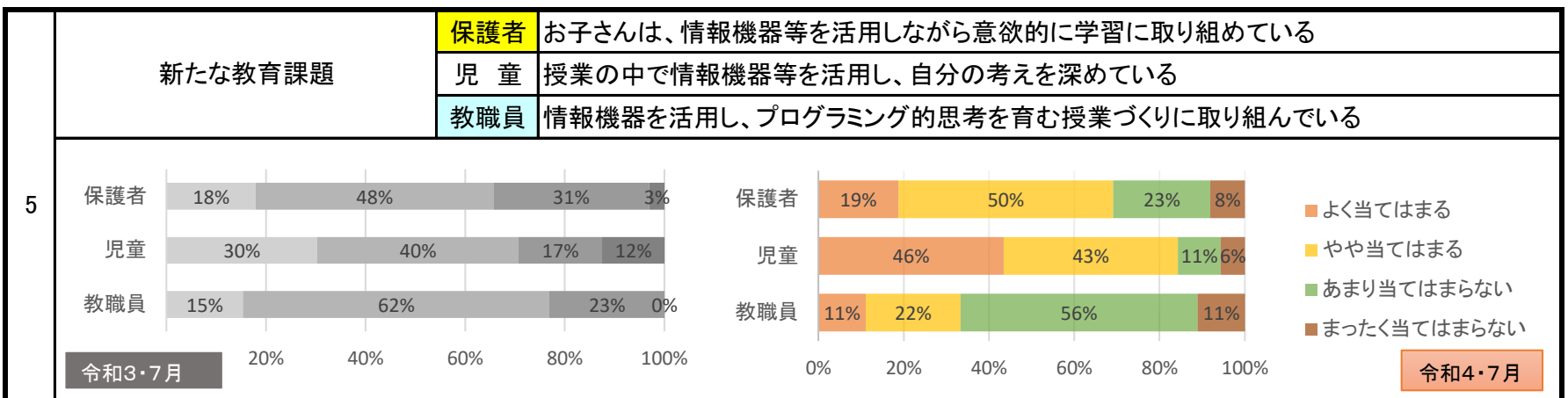


令和4年度 1学期学校評価アンケート集計

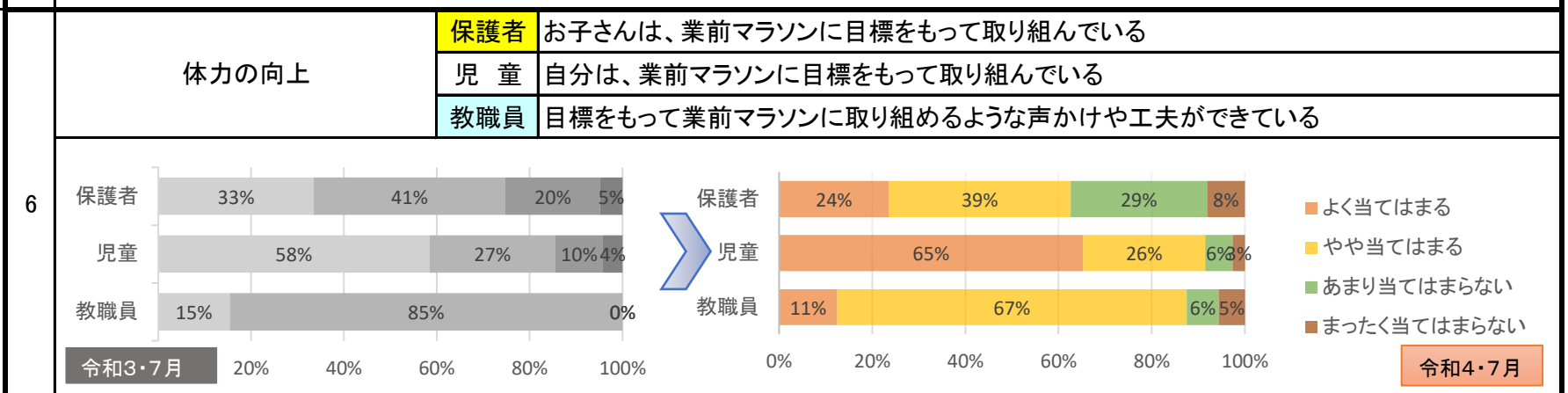
西尾市立一色南部小学校  
令和4年 7月実施

項目	目標	対象	質問内容																																								
信頼される学校づくり	保護者、地域に開かれた学校	保護者	通信やブログなどを通して学校や学級の指導方針がよく分かる																																								
		児童	先生の話聞いて、自分が何をやらなければならないかがわかる																																								
		教職員	通信などを通して指導方針(学級経営方針も含む)を説明するよう心がけている																																								
1			<table border="1"> <caption>令和3・7月</caption> <tr><th>対象</th><th>よく当てはまる</th><th>やや当てはまる</th><th>あまり当てはまらない</th><th>まったく当てはまらない</th></tr> <tr><td>保護者</td><td>22%</td><td>59%</td><td>17%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>36%</td><td>56%</td><td>7%</td><td>1%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>17%</td><td>67%</td><td>17%</td><td>0%</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>令和4・7月</caption> <tr><th>対象</th><th>よく当てはまる</th><th>やや当てはまる</th><th>あまり当てはまらない</th><th>まったく当てはまらない</th></tr> <tr><td>保護者</td><td>30%</td><td>56%</td><td>10%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>46%</td><td>46%</td><td>9%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>22%</td><td>67%</td><td>11%</td><td>0%</td></tr> </table>	対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	保護者	22%	59%	17%	2%	児童	36%	56%	7%	1%	教職員	17%	67%	17%	0%	対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	保護者	30%	56%	10%	4%	児童	46%	46%	9%	0%	教職員	22%	67%	11%	0%
対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない																																							
保護者	22%	59%	17%	2%																																							
児童	36%	56%	7%	1%																																							
教職員	17%	67%	17%	0%																																							
対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない																																							
保護者	30%	56%	10%	4%																																							
児童	46%	46%	9%	0%																																							
教職員	22%	67%	11%	0%																																							
			【1】 ブログの更新は、ほぼ毎日行っている。これからも通信やブログの内容を精査し、学校の様子を保護者・地域に伝えていけるよう取り組みを続けたい。																																								
	全員参加の面白い授業	保護者	お子さんは、自ら進んで学習したり考えを伝えたりしようとしている																																								
		児童	授業の中で自分の考えを進んで発表したり、問題を進んで解決したりしている																																								
		教職員	子どものやる気を引き出し、自ら考え学ぼうとする授業づくりに取り組んでいる																																								
2			<table border="1"> <caption>令和3・7月</caption> <tr><th>対象</th><th>よく当てはまる</th><th>やや当てはまる</th><th>あまり当てはまらない</th><th>まったく当てはまらない</th></tr> <tr><td>保護者</td><td>7%</td><td>31%</td><td>44%</td><td>18%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>31%</td><td>43%</td><td>20%</td><td>6%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>15%</td><td>31%</td><td>54%</td><td>0%</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>令和4・7月</caption> <tr><th>対象</th><th>よく当てはまる</th><th>やや当てはまる</th><th>あまり当てはまらない</th><th>まったく当てはまらない</th></tr> <tr><td>保護者</td><td>20%</td><td>41%</td><td>36%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>45%</td><td>33%</td><td>22%</td><td>1%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>33%</td><td>56%</td><td>11%</td><td>0%</td></tr> </table>	対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	保護者	7%	31%	44%	18%	児童	31%	43%	20%	6%	教職員	15%	31%	54%	0%	対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	保護者	20%	41%	36%	4%	児童	45%	33%	22%	1%	教職員	33%	56%	11%	0%
対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない																																							
保護者	7%	31%	44%	18%																																							
児童	31%	43%	20%	6%																																							
教職員	15%	31%	54%	0%																																							
対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない																																							
保護者	20%	41%	36%	4%																																							
児童	45%	33%	22%	1%																																							
教職員	33%	56%	11%	0%																																							
			【2】 新学習指導要領の示す「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、さらに教職員の研鑽を積んでいながら、考えを深め、伝える場を設定した全員参加の面白い授業の実現を目指していきたい。																																								
	基礎学力の定着	保護者	お子さんは、習ったことを繰り返し学習している																																								
		児童	毎日の授業で学習したことをきちんと復習している																																								
		教職員	努力賞テストなどを通して、その学年で身につけるべき学力を定着させている																																								
3			<table border="1"> <caption>令和3・7月</caption> <tr><th>対象</th><th>よく当てはまる</th><th>やや当てはまる</th><th>あまり当てはまらない</th><th>まったく当てはまらない</th></tr> <tr><td>保護者</td><td>14%</td><td>31%</td><td>45%</td><td>10%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>30%</td><td>35%</td><td>29%</td><td>6%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>23%</td><td>62%</td><td>15%</td><td>0%</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>令和4・7月</caption> <tr><th>対象</th><th>よく当てはまる</th><th>やや当てはまる</th><th>あまり当てはまらない</th><th>まったく当てはまらない</th></tr> <tr><td>保護者</td><td>14%</td><td>39%</td><td>34%</td><td>13%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>42%</td><td>44%</td><td>13%</td><td>1%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>33%</td><td>44%</td><td>22%</td><td>0%</td></tr> </table>	対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	保護者	14%	31%	45%	10%	児童	30%	35%	29%	6%	教職員	23%	62%	15%	0%	対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	保護者	14%	39%	34%	13%	児童	42%	44%	13%	1%	教職員	33%	44%	22%	0%
対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない																																							
保護者	14%	31%	45%	10%																																							
児童	30%	35%	29%	6%																																							
教職員	23%	62%	15%	0%																																							
対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない																																							
保護者	14%	39%	34%	13%																																							
児童	42%	44%	13%	1%																																							
教職員	33%	44%	22%	0%																																							
			【3】 昨年度同様に、保護者の満足度の低い項目である。基礎学力定着のため、家庭等での復習の習慣がさらに望まれるところである。家庭学習の課題を精査し、学校と家庭が連携して、児童の学力を伸ばしていきたい。また、教職員の意識づけをさらに行っていきたい。																																								
	学びの価値づけ	保護者	お子さんは、自分の目標に向かって努力し、通知表ファイル等で振り返り、次に生かしている																																								
		児童	授業や行事の振り返りから目標を決め、その結果を次につなげて生かしている																																								
		教職員	指導と評価の一本化を図った朱書きを入れ、意欲を引き出している																																								
4			<table border="1"> <caption>令和3・7月</caption> <tr><th>対象</th><th>よく当てはまる</th><th>やや当てはまる</th><th>あまり当てはまらない</th><th>まったく当てはまらない</th></tr> <tr><td>保護者</td><td>16%</td><td>47%</td><td>33%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>36%</td><td>45%</td><td>18%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>8%</td><td>77%</td><td>15%</td><td>0%</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>令和4・7月</caption> <tr><th>対象</th><th>よく当てはまる</th><th>やや当てはまる</th><th>あまり当てはまらない</th><th>まったく当てはまらない</th></tr> <tr><td>保護者</td><td>10%</td><td>29%</td><td>45%</td><td>16%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>41%</td><td>41%</td><td>16%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>33%</td><td>33%</td><td>33%</td><td>0%</td></tr> </table>	対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	保護者	16%	47%	33%	4%	児童	36%	45%	18%	2%	教職員	8%	77%	15%	0%	対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	保護者	10%	29%	45%	16%	児童	41%	41%	16%	2%	教職員	33%	33%	33%	0%
対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない																																							
保護者	16%	47%	33%	4%																																							
児童	36%	45%	18%	2%																																							
教職員	8%	77%	15%	0%																																							
対象	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない																																							
保護者	10%	29%	45%	16%																																							
児童	41%	41%	16%	2%																																							
教職員	33%	33%	33%	0%																																							
			【4】 昨年度と同様に児童・教職員の「よく当てはまる」「やや当てはまる」の割合に比べ、保護者の割合が低い項目である。児童の振り返りをもとに、次につなげていけるような支援の場を設けるとともに、達成感を味わえる活動を心がけていきたい。また、保護者に振り返り等を見ていただけるような機会を増やしていきたい。																																								

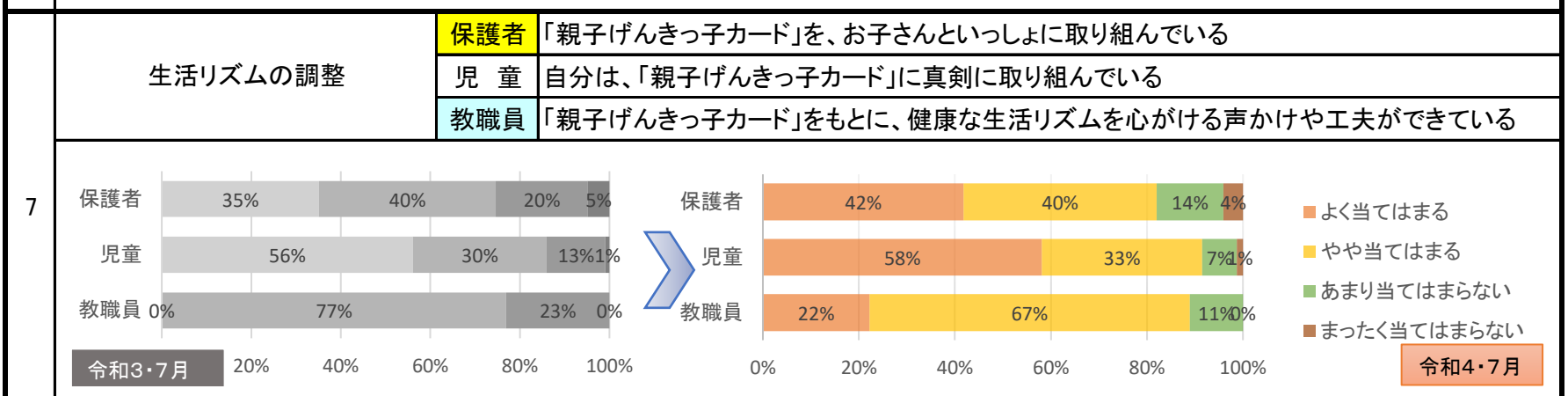
かんがえる



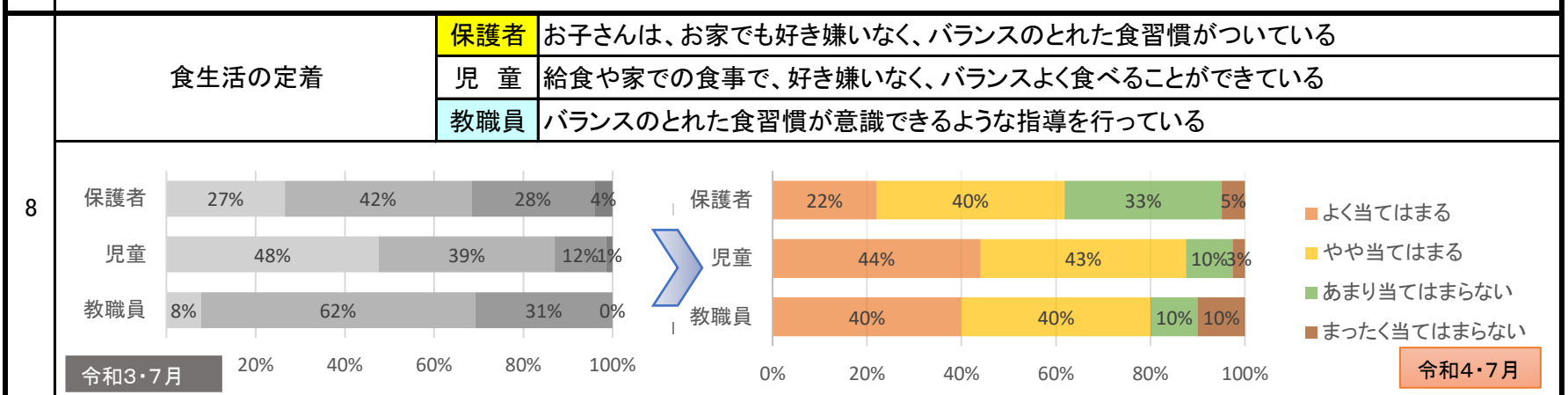
【5】 児童一人に一台ずつ配置されたタブレット端末を活用し、考えを深めるツールとしての活用に向けて教職員の一層の研鑽が望まれる。計画的に位置づけることによって、教育的な効果をさらに向上させていきたい。



【6】 本校伝統の業前マラソンである。本年度も、コロナ禍での安全な実施方法を探っていきながら、目標と達成感、成就感をもたせて児童の体力の向上を目指していきたい。



【7】 学期に1回の取り組みであるが、児童、保護者が高い意識をもって取り組んでいることがわかる。教職員側の声かけや健康について意識を向上させるための工夫をしっかりとしていきたい。



【8】 年々数値が低くなっている項目の一つである。弁当の日の取り組みをはじめとして、児童が食生活・食習慣を意識できるような機会を大切にして、指導をしていきたい。

きたえる

令和4年度 1学期学校評価アンケート集計

西尾市立一色南部小学校  
令和4年 7月実施

たすけあう	9	生命の尊重	保護者	お子さんは、交通安全に気をつけて登下校したり、自転車に乗ったりしている
		児童	交通安全に気をつけ、登下校したり自転車に乗ったりしている	
		教職員	交通安全指導、避難訓練等で、状況に応じた的確な判断や行動をとるよう指導している	
		<p>令和3・7月</p> <p>令和4・7月</p>		
【9】 昨年度同様、登下校に対する不安を抱いている保護者が多かった。通学団に対する指導をはじめとして、安全・安心について常日頃から児童に高い意識をもたせていきたい。				
たすけあう	10	信頼を基調とした集団づくり	保護者	お子さんは、お家で自分のよいところや得意なことを話す
		児童	自分にはよいところや頼りにされているところがある	
		教職員	自己肯定感、自己有用感を高める工夫をしている	
		<p>令和3・7月</p> <p>令和4・7月</p>		
【10】 本校の特徴として児童の自己肯定感が低いことがあげられる。「よくあてはまる」「やや当てはまる」の合計の数値は、少しずつであるが上がってきている。しかし、さらに自己肯定感・有用感を感じられる場の設定や教職員側の工夫・手だてを考えていきたい。				
たすけあう	11	学級目標を核とした学級文化づくり	保護者	お子さんは、お家で進んで挨拶や手伝いをしたり、いろいろな行事活動に参加したりしている
		児童	進んであいさつしたり、自分で考えながら学級の仕事に取り組んだりしている	
		教職員	学級目標を核として、子どもたちが主体的に活動したり、企画・運営したりできる場の工夫をしている	
		<p>令和3・7月</p> <p>令和4・7月</p>		
【11】 児童・教職員に比べ、保護者の数値が低い項目である。児童が係活動や委員会活動で意識を高め、さらに活躍できるよう手だてをとっていきたい。また、家庭や地域での挨拶やお手伝いの大切さを意識させ、率先して行動できる手立て等も実践していきたい。				
たすけあう	12	笑顔で通える学校	保護者	お子さんは、友だちと仲良くしながら、楽しく学校に通えている
		児童	友だちにやさしいことばをかけたり接したりしながら、楽しく学校へ通えている	
		教職員	子どもの様子の変化をとらえ、互いに尊重し合い、心を耕すピンクシャツデーの取り組みを通して、いじめのない学級づくりを進めている	
		<p>令和3・7月</p> <p>令和4・7月</p>		
【12】 保護者、児童、教職員ともに「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて90%近くとなっている。今後もこの状態が続くようしっかり取り組んでいきたい。また、「まったく当てはまらない」と回答をした児童がいることを真摯にうけとめ、0%を目指して取り組んでいきたい。				